

平成27年度を振り返って

恵庭市文化協会
会長 高橋正彰



この冬はいつになく雪の少ない年で、楽ではありましたが、変な影響がないことを祈っております。ともあれ、新しい春がやってきました。加盟団体各位におかれましては、新年度の準備に余念のないことと拝察し、ご活躍を楽しみにしております。

今年度の文化協会の活動を振り返ってみますと、6月の映画会、9月の人形浄瑠璃公演と、これまでにない事業を実施しました。映画会は旧穂別町の高齢者が企画制作した、究極の手づくり文化です。「田んぼ de ミュージカル」シリーズの最新作、といっても公開されてから数年が経過していましたが、恵庭では初公開。いわゆる興行物ではない、素人臭ブンブンながら、不思議な面白さを感じ取っていただけたと思います。

それと、人形浄瑠璃は多分恵庭初公演。安土桃山時代に誕生した古典芸能で、本州では根強いファンがいて、東京、大阪には専門の劇場があります。ふだんはテレビ（それもEテレ）でしか見られないので、正直不安はありましたが、皆さんの頑張りで大ホールはまずまずの入り。演技手である「さっぽろあしり座」の巧みな舞台さばきで、観客の反応もよく大ノリ状態？後日、多くの人から「楽しかった、良かったよ」と言っていたのは望外の喜びでした。

そして文化祭ですが、今年は第60回という節目の年でした。特別のこともなく、淡々と終

わりましたが、当たり前文化祭が開催できる、ということが大事です。第1回えにわ町民文化祭は、敗戦後の混乱がようやく収まってきて、もう戦後ではないと言われた昭和31年に、文化を求めた先輩諸氏の大変な努力で開催されました。いわゆる「手作り文化」の始まりです。先人のご苦労に、心から敬意と感謝の気持ちを捧げたいと思います。

昔も今も、文化活動が日々暮らしていく自分の心と地域社会に「はりあい」と「いきがい」をもたらしてくれるのは同じです。「手づくりの文化」の輪を更に広げて、恵庭をもっともっと文化の豊かな町にしていこうではありませんか。このたび、文化協会のホームページ開設を計画しました。まだ作業途中ですが、これで、誰もが恵庭の文化協会にアクセスできるようになります。パソコンなど無縁の方もおられるでしょうが、社会はインターネットで繋がっています。自分の好きな時に、恵庭の文化情報を閲覧できるようになります。開かれた協会のイメージを持って貰えることで、新たな展開があることを期待しています。新年度もみんな仲良く、恵庭の文化発展に力を合わせていきましょう。



人形浄瑠璃公演終了後、特別出演したえびす君もお客様をお見送り

■平成 27 年度主催事業報告

映画会・人形浄瑠璃公演を実施



〈上映前のトークショー〉

6月18日、市民会館中ホールを会場に、旧穂別町の高齢者の皆さんが企画制作した映画「夕陽のジュリー」

上映とトークの会を開催しました。

映画は、文学、音楽、演劇、映像等多方面の芸術を網羅する総合芸術です。それを地域の高齢者の人たちが、手づくりで作ってしまうというエネルギーに改めて驚きました。

映画上映に先立って、企画者・脚本家である詩人の斉藤征義氏と関係者2人(出演者とスタッフ)の3人の掛け合いでトークショーを行い、映画製作にまつわる苦労話や映画に出演することで穂別の高齢者は凄く元気だというお話を聞かせてもらい、その後映画鑑賞。大方の人には未知の世界でしたが、究極の手づくり文化をやってる、ということを感じていただけたのではないかと思います。ちなみに、入場者数は約180名でした。

人形浄瑠璃は9月13日、市民会館大ホールで開催。恵庭では多分初めての公演でしたが、最近の日本ブームを勘案して開催させていただきました。成功を期するため、行政機関のほかライオンズクラブ等国際奉仕団体にも後援をお願いして、全市的催しのイメージ作りを心がけました。観客者数は目標に届きませんでした。予算的には協会の持ち出しはごく僅かですみました。

本事業の成果は、観客の満足感が高かったことと感じています。当日の午前中、子供たち対象のワークショップを行いました(協力/恵庭市子ども育成連合会)急遽、本番でその子供たちの出番を設け、幕あいに解説を入れたり、演目に地元・恵庭の情報を取り入れるなど、親しみを持たせる巧みな舞台構成で、舞台と客席に一体感が醸成されて観客も大喜び。演じ手の「さっぽろあしり座」

の座長も「恵庭の人は反応がいい、優しいですね」と言ってくれました。



〈恵庭で初めての人形浄瑠璃芝居〉

ちなみにチケット販売枚数は402枚で、このうち74枚はプレイガイドでの売り上げ。これは非会員の一般市民の購入ということになります。

以上、今年度は協会加盟団体のどこもがやっていない文化をやりました。普段見慣れない文化に、新鮮な刺激を感じていただけたのではないかと思います。加盟団体各位には券売はじめ、いろいろ御協力いただきありがとうございました。

■石狩管内郷土芸術祭

平成27年度の管内郷土芸術祭は、文芸部門が6月28日北広島市(参加/市民文芸の会)、舞台発表は8月30日江別市民文化ホールで(出演/クラウン歌謡学院恵庭、フラスタジオモアナ)、展示発表は11月21・22日千歳市民ギャラリー(出品/美術協会、陶芸サークル響香、写真協会、華道協会、書道連盟)でそれぞれ開催されました。



〈江別市民文化ホール フラストスタジオモアナ〉

■第60回えにわ市民文化祭

平成27年度「えにわ市民文化祭」は、10月15日から11月3日にかけて次のとおり開催されました。第60回という節目を数えた今回、特に記念事業もなく淡々と進められましたが、プログラム、実行委員会あいさつ等で60回の意義を強調したので、文化祭の意義などご承知いただけたものと思います。

これからも、手づくり文化のよさを多くの市民に広げていきましょう。

●展示部門（市民会館・夢創館）

出展者710名、入場者2,963名

会場	期日（期間）	対象団体等
市民会館	10月16日(金) ～18日(日)	恵庭・恵み野地区の市民講座・公民館サークル、文化協会合同展、一般公募 呈茶席
夢創館	11月1日(日) ～3日(火)	恵庭・恵み野地区の市民講座・公民館サークル、文化協会合同展、一般公募 呈茶席
市民会館	11月1日(日) ～3日(火)	文化協会（菊花展）
公民館	11月1日(日) ～3日(火)	島松地区の市民講座・公民館サークル、文化協会、一般公募



<展示室 書道連盟>

●舞台部門

出演者822名 入場者 2,900名

会場	期日（期間）	内容
市民会館	10月24日(土) ～25日(日)	舞台発表
公民館	11月3日(祝)	舞台発表・ダンスの夕べ

●島松公民館まつり（再掲）

○展示 出展者 89名 入場者 1,720名

○舞台 出演者 339名 入場者 1,950名

●恵庭会場



<富山県人会 えにわ越中おわら風の盆踊り会>



<日本詩吟学院 北海道樽前岳風会 恵庭支部>



<柏小一輪車クラブ（一般）>

●平成 27 年度文化協会賞受賞者紹介



<文化振興賞>

(敬称略)

■雨宮祐子(あめみや ひろこ/恵庭美術協会)

平成元年、絵画サークル「えのぐ箱」に入会し、同サークルの事務局・会計・監査役を務める。この間、平成7年に恵庭美術協会の会員となり、現在は同会の会計監査を務める。平成9年、恵庭市市民会館ギャラリーに於いて三人展を開催し、恵庭美術協会・えのぐ箱の行事またアートバンク「恵庭市芸術文化宅配事業」等に積極的に参加協力をしている。

■尾崎一燈子(おざき いとこ/恵庭華道協会)

昭和56年、草野敬子先生(池坊)に師事。同58年札幌支部池坊に入会し、平成8年準教授免許を取得、15年には正教授1級免許取得。16年からは恵み野会館で池坊サークルの指導を始め、現在に至る。この間、昭和58年に文化協会入会、書と花の合同展、文化祭、花とくらし展に出品するほか、少年少女文化体験事業、伝統文化こどもいけ花教室での指導手伝いなど、恵庭のいけ花文化の普及発展に寄与している。

■金澤美穂(かなざわ みほ/恵庭書道連盟)

昭和50年、北日本書道学会入会。その後平成10年に恵陽書道会の久野鶴舟先生に師事。この間、北日本書道会にて特選を受賞、現在は無鑑査である。恵庭書道連盟・恵庭市文化協会の行事には積極的に参加し恵庭市の文化の向上に貢献している。

■小山えり子(こやま えりこ/箏『星の会』)

平成元年に箏『星の会』に入会。平成2年初伝免状、平成3年中伝、平成5年奥伝、平成7年助教、平成15年三弦免状初伝、皆伝、平成16年奥伝、皆伝を取

得。平成17年東京においておこなわれた、宮城社の教師試験に合格。以来『星の会』のトップとして活躍するほか、ボランティア活動にも参加し恵庭市の文化向上に貢献。

■野村 博(のむら ひろし/恵庭吟友連盟・日本詩吟学院北海道樽前岳風会恵庭支部)

昭和51年日本詩吟学院岳風会恵庭支部に入会。平素から吟道の研鑽に努め、恵庭支部詩吟会の会長及び担当師範として、会員の吟詠指導育成に努めるほか、支部・所属詩吟会の要職に就いて貢献している。

■前田貞治(まえだ ていじ/恵庭吟友連盟・日本詩吟学院北海道樽前岳風会恵庭支部)

昭和54年岳風会釧路支部に入会。その後帯広支部を経て恵庭支部に入会。以来平素から吟道の研鑽に努め、副担当師範として会員の吟詠指導育成と文化振興に努めるほか、所属詩吟会の要職において多大な貢献をした。岳風会恵庭支部恵庭詩吟会会長・理事、現在は副担当師範。

■吉田志津子(よしだ しづこ/NPO法人日・米・加吟詠連盟日本國風流詩吟吟舞会恵庭支部)

平成元年入門以来真摯に伝統芸能の習得に努力研鑽し、現在は本流詩吟の師範位を允許されている。平成11年より日本國風流詩吟吟舞会恵庭支部理事。平成13年より道央地区本部理事に就任し、恵庭支部並びに道央地区本部の活動発展に多大な貢献をしている。

●27 年度石狩管内文化団体協議会表彰者

文化奨励賞/大久保貢(おおくぼみつぐ/NPO 法人日米加吟詠連盟日本國風流詩吟吟舞会恵庭支部)



<

平成 27 年度各種大会・公募展入賞者

事務局が把握した受賞者をご紹介します。漏れ多数と思われませんが、ご容赦ください。

- **第 62 回写真道展**（北海道新聞社・北海道写真協会主催）自由の部入選／田中康夫、加藤憲秋、木全正樹 観光・産業の部入選／木全正樹 ネイチャーフォトの部／松本恵一、田中康夫
- **第 21 回北海道野生生物写真コンテスト**（北海道新聞野生生物基金主催）動物部門 2 席／菅原恵子 同入選・優秀作品／田中康夫、藤本卓哉
- **第 56 回北海道書道展**（北海道新聞社・北海道書道連盟主催）第 1 部（漢字多字数）入選／白江香仙、田中聖子、廣井玉翠（新会友）、中村飛鳥、外山華雪、西前碧邦、山口春美 第 3 部（かな）秀作／中野八重子 同入選／佐藤典子 第 4 部（近代詩文）秀作／行沢澄子、高橋弘子 同入選／細木慎太
- **第 92 回春陽展**（春陽会主催）入選／高橋清子
- **日本版画家協会第 83 回版画展**（日本版画家協会主催）入選／高崎勝司
- **第 66 回全道民謡決勝大会**（北海道新聞社・北海道民謡連盟主催）北海道民謡の部優勝・最優秀賞／菊澤信枝 全国民謡の部優勝／村川絵理
- **第 69 回二紀会展**（二紀会主催）絵画の部入選／長坂栄子

★トピックス

中村哲泰さんが一水会賞受賞

一水会は東京に本部を置き、有島生馬、安井曾太郎など、日本西洋画壇を代表する画家によって 1936（昭和 22）年に創設された歴史ある美術団体で「技術を重んじ、高雅なる芸術を尊重する」という創立精神を守り続け、数ある美術団体の中でも確かな存在感を放っています。中村氏は前年度に裕（はざま）伊之助賞を受け、今年度一水会賞と連続受賞の快挙。恵庭美術協会創立会員のお一人です。今後ますますの活躍をご期待申し上げます。

■平成 28 年度えにわ市民文化祭日程

今年の文化祭日程は次のとおりです。今年は、舞台発表の参加申込みの締切日が早くなったのでご注意ください。

● 展示部門

（1）会場・期間

会場	期日(間)	対象団体等
市民会館	10/14～16	恵庭・恵み野地区の市民講座・公民館サークル、文化協会、一般公募、呈茶席
夢創館	11/1～3	文化協会（菊花）
市民会館	10/31～11/3	島松地区市民講座・公民館サークル、一般公募、呈茶席
島松公民館	11/1～3	

（2）参加対象・制限等

市内に活動拠点のある、恵庭市民または市内に通勤通学する 16 歳以上の方で構成する文化団体等で、1 人 1 点に限る。実発表作品に限る。

（3）申込み

7 月 28 日(木)までに、社会教育課、公民館備付けの申込用紙に記入し提出してください。

● 舞台部門

（1）会場・期日

会場	期日(間)	対象団体等
市民会館 大ホール	10/22～23 13:00～16:00	主に恵庭、恵み野地区で活動する団体。36 団体まで。
島松公民館	11/3	主に島松地区で活動する団体。

（2）参加対象・制限等

市内に活動拠点を持つ団体での出演であること。中学生以下の出演は保護者の同意必要。1 人 1 箇所だけの出演に限り、2 地区出演不可。市民会館は 36 団体を超える申し込みがあった場合は抽選とする。

（3）申込み

6 月 23 日(木)までに、社会教育課、公民館備付けの申込用紙に記入し提出してください。

文化協会ホームページを開設します

文化協会ホームページ開設作業は年度内にセットアップを終えましたが、データの収集掲載作業に時間を要したため、6月下旬に運用を開始する予定です。

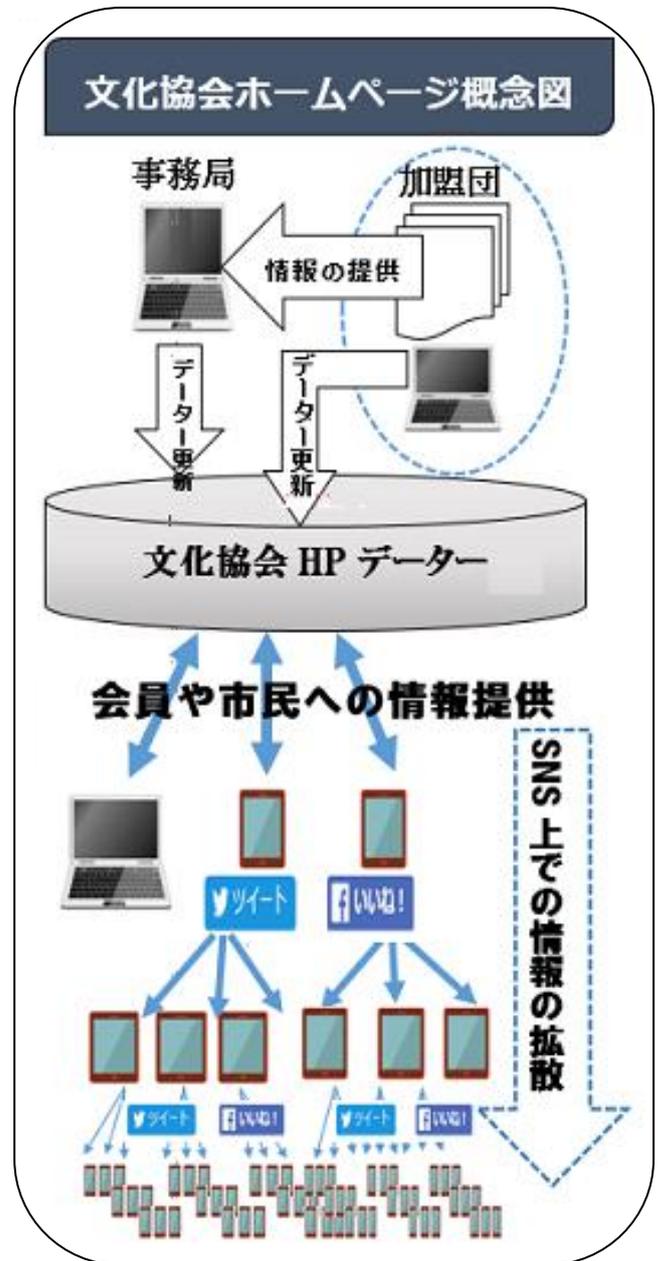
ホームページは、従前の文化協会活動にパソコンを利用した情報発信機能を加えるもので、これまでの取り扱いを大きく変えるものではありません。日ごろの活動をより多くの人に紹介することで、事業動員数の増加や会員の加入促進をはかり、協会及び各加盟団体の活性化を目指そうとするものです。

ホームページでは協会の事業や歴史などをお知らせする「協会のページ」のほか、各団体の活動を紹介する「加盟団体のページ」を用意しました。ここでは文字情報のほか画像や動画を使い会の紹介ができます。また、上部機関や関連団体のホームページとリンクをさせることも可能で、掲載した情報は適時追加や訂正ができます。

加盟団体が実施する事業を「お知らせ」や「トピックス」のページで紹介することで、集客力の向上を目指します。掲載したい情報がある場合は事務局までお知らせください。依頼の方法は、開設するホームページの「お知らせ」欄をご覧ください。

また、文化協会のホームページは情報を掲載し、閲覧者の訪問を待つだけではなく、より積極的な情報発信を可能としました。会員が掲載情報をフェイスブックやツイッターなどの SNS 上で話題にすることで、短時間で大勢の人に情報を発信することができます。

開設作業は予定より大幅に遅れましたが、皆様のご協力を得てスタートラインにつくことができました。この事業が軌道に乗り、効果を発揮するまでにはもう少し時間が必要と考えられます。効率的で効果的活用に向けては会員の皆様のご協力が不可欠となります、今後ともご協力をお願いします。



パソコンやスマートフォンなどの検索画面に eniwabunka.org と入力しアクセスしてください。

お気づきの点は下記事務局次長宛ご連絡ください。

☎32-3338

メールアドレス: mztk2002@canvas.ocn.ne.jp

加盟会費早期納入のお願い

加盟団体の理事等、役員の皆様にはいつもご世話様です。会費の早期納入につきよろしくお願ひします。

納入金額 一人 500 円 / 年 × 会員数

振込先 北海道銀行恵庭支店

普通口座 0912997

口座名義 恵庭市文化協会